

ひょうごオリジナルギクで新たに2品種を登録出願！

兵庫県では県花卉協会と共同でひょうごオリジナルギク（商品名「サンバマム」シリーズ）の育成を行ってきた。その結果、「兵庫花10号」「兵庫花11号」が2013年10月に品種登録され、新たに「兵庫花12号」「兵庫花13号」を品種登録出願し、本格的な生産を開始した。

内 容

兵庫県では2006年から県花卉協会と共同で“これまでにないような新しい使い方の出来るキク”を目標に育種を行い、2013年10月に最初のひょうごオリジナルギクとしてデイジー咲き※の「兵庫花10号」（商品名「ウェディング・サンバ」）と「兵庫花11号」（商品名「スカーレット・サンバ」）（写真1）を品種登録し、「サンバマム」シリーズとして本格的な生産を開始した。

これと並行して品種数の拡大を目指した次の育種も進め、2012年に2系統を選定し、試作と試験販売を行った。市場評価も良好だったため2013年10月に「兵庫花12号」と「兵庫花13号」（写真2）として品種登録を出願した。これらはそれまでのデイジー咲きではなく、アネモネ咲き※であるため、商品名も「スター・サンバ」として売り出した。

「兵庫花12号」は商品名「ビーナス・スター・サンバ」として販売している自然開花期が10月下旬の品種である。花径が約16cmの半八重アネモネ

咲き大輪で、舌状花弁色は鮮やかな紫ピンクである。

「兵庫花13号」は商品名「フェアリー・スターサンバ」として販売している自然開花期が10月下旬の品種である。花径が約19cmの半八重アネモネ咲き大輪で、舌状花弁色は淡い紫ピンクである。

今後の方針

「サンバマム」シリーズの生産はひょうごサンバマム生産協議会を中心に行っており、上記2品種も同協議会を中心に生産を本格化し、既存の「サンバマム」シリーズと共に売り出していく。また、現在、作期の拡大を目指して試験に取り組んでいる。この結果を同協議会に提供して生産拡大に取り組む。

玉木 克知（農産園芸部）

（問い合わせ先 電話：0790-47-2424）

※花心の管状花に花弁がない咲き方をデイジー咲きといい、管状花が半花弁化した咲き方をアネモネ咲き（丁字咲き）という。



写真1 「ウェディング・サンバ」（左）と
「スカーレット・サンバ」（右）



写真2 「ビーナス・スター・サンバ」（左）と
「フェアリー・スター・サンバ」（右）